

平成29年
1月20日発行
No.91

ろくのへ 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp



みんなで食べるの、 おいしいね!!

大曲小学校なかよし会(学童保育)は、もちつき会を行いました。一年生から三年生までの子どもたち53人が参加し、みんなですいたお餅を雑煮でパクリ!何回もお代わりする子どもたちが続出した、笑い声があふれる楽しいもちつき会でした。

(撮影日:1月5日)

※大曲小学学童保育所の関連記事は13ページです。

【議長あいさつ】

新年のごあいさつ 2

【第4回定例会】

台風災害復旧に3,112万円 3

【一般質問】

2人の議員が質問 6

【ワールドカフェ方式】

六戸高校生との意見交換会を実施 8~9

【議員県外研修】

先進地に学ぶ 10



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。
 町民の皆様方には、輝かしい新春を、お健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

日頃より町議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月にブラジル リオデジャネイロで開催された夏季オリンピックでは、八戸市出身のレスリング女子58kg級の伊調馨選手の金メダル、そして、国民栄誉賞を受賞、五戸町出身の、男子レスリングのグレコローマン59kg級の太田忍選手の銀メダル獲得は、青森県民に勇気と大きな感動を与えてくれました。

一方、六戸町では8月の台風、長雨被害による打撃を受けました。特に、ナガイモ、ゴボウといった基幹作物である農業への被害が大きく、農家へ大きな影響が出ました。

さらには、TPP問題の不透明化により、農家の不安要素を抱える状況となった一年でした。

また、本年は町制施行60周年という記念すべき節目の年でもあり、新たなまちづくりを進めるため議員全員が力を合わせ、誠心誠意努力してまいっている所存であります。

当町は厳しい状況のなかではありますが、健全な財政運営と定住支援事業の効果により、着実に人口は増えてきております。

今後におきましても、一歩ずつではありますが、着実に前に進んでいけるものと確信しております。議会としても、限られた財源の中で、より良い施策や事業効果がみられるよう、町民の皆様のご期待に応えていくために、町政を見守りたいと思います。

今後は、「六戸町議会基本条例」に基づき、議員個々の

意識改革など、これまで以上に議会改革を推進して参ります。さらに自律的な地域経営と地域間競争に勝ち抜く魅力的なまちづくりが求められる中、私も議会といたしましても、議会の役割と責任はますます重要となることを認識し、子どもや高齢者、障がいのある人を地域で見守り、支援しながら、町民の皆さん一人ひとりが、安全に安心して暮らすことができるよう努めてまいります。

どうか本年も、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様がますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

六戸町議会

議長 円子 徳通



10月12日に行われた六戸高校生と議会議員との意見交換会での意見をご紹介します。テーマは「20年後、なりたい大人になるために、あなたが踏み出したい一歩は？」です。

専決
処分

台風被害

災害復旧に3,112万円

12月定例会は、12月2日から6日まで開催されました。
平成28年度一般会計、特別会計の補正予算6件、条例案件や災害復旧事業の施行、人事案件など12件を審議し、原案のとおり可決、同意しました。
主な内容は次のとおりです。

専決
処分

◆ 台風被害による経費の補正

8月下旬、9月上旬に発生した台風被害に関係したものです。職員の時間外勤務手当や被災箇所の復旧費として3112万8千円を計上しました。



大雨によって崩れた斜面

補正
予算

◆ 大曲小学校学童保育所を増築他

大曲小学児童保育所に通う児童が増加するため、

増築工事を行います。

また、六戸児童館の屋根を改修します。合計で2396万円3千円です。

学童保育所の生活室。中央奥の窓から先が増築予定部分である



◆ 除雪体制を万全に

除雪業務に1870万円、除雪のための機械借り上げ料として692万8千円を計上しました。

条例
案件

◆ 農業委員会委員を町長の任命制に

農業委員会等に関する

法律が改正されたことに伴い、農業委員会委員の選任方法が町長の任命制に変更されました。

◆ 町職員、特別職の期末手当等の支給割合を見直す

県人事委員会の勧告を考慮し、若年層職員の給与額を引き上げ、12月期末手当の支給割合を100分の5引き上げます。

◆ 町議会議員の報酬を見直す

期末手当の支給割合を100分の5引き上げます。この議案について、反対討論がありました。

この議案に反対！

川村 重光議員

台風の被害が甚大で、困窮している農家がいる中で、議員の期末手当であつても常に町の事情を酌んで提案すべきだ。よって、現在の町民感情から考えても反対する。

討論の後、起立採決を行い、賛成者多数で可決されました。

人事
案件

◆ 教育委員会委員

次の方を教育委員会委員に同意しました。
任期は平成28年12月25日から平成32年12月24日までです。

▼ 長根 富栄さん (岡沼)

昭和24年5月5日生



登壇台で話す長根富栄さん

● 平成28年度 各補正予算(いずれも全会一致で可決しました) ●

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	56億6533万円	1億5402万円	58億1935万円
国民健康保険事業特別会計	15億4936万円	1168万円	15億6104万円
介護保険事業特別会計	14億4272万円	114万円	14億4386万円
後期高齢者医療特別会計	1億420万円	747万円	1億1167万円
霊園事業特別会計	925万円	0円	925万円
国民健康保険診療所事業特別会計	2億6960万円	236万円	2億7196万円

議会トピックス ①

白衣の天使と言われるような看護師になるために、実技はもちろん看護をする優しい心を育てたい。(A.Gさん)

議案審議

● 災害復旧費の専決処
分について

問 川村 重光議員

町有地の樹木が強風で倒れ、民地にあった車両に損害を与えた対応経費として100万円を計上した根拠は

答 円子企画財政課長

相手側とは接触できていない状態のため、金額は確定していません。100万円あれば対応できるのではということでご計上しました。
※山本実議員も関連質問をしています。

● 農業委員会委員の女性登用について

問 下田 敏美議員

女性の農業委員を何名考えているか。男女共同参画社会なのだから、それ相当数の女性を登用すべきだ

答 吉田町長

全体的なところから見るため、何名と断定的に

今は言えません。ただ、女性の観点から委員に外れない形で対処したいと考えています。

● 農業委員会委員他の特別職の報酬改定について

問 川村 重光議員

農業委員の報酬を改定するにあたり、議員や第三者が入った審議会などで決定しているのか

答 高橋農業委員会事務局長

議員以外に関して、そのような審議会を開くという条例等になっていません。農業委員会の中で検討し、町長部局や財政当局に相談して議案を提出しています。

問 山本 実議員

会長の報酬を月額3万2千円から5万円との提案だが、年間のスケジュール等を勘案しても、もっと上げるべきだと思う。今後値上げの考えはあるか。また、他の自治体と比べてどうか

答 高橋農業委員会事務局長

現時点で報酬の更なる値上げは考えていません。周辺市町村の変更後の情報は、まだつかめていません。今後、情報収集に努めます。

● 町職員による事務ミスについて

問 河野 豊議員

8月に介護保険料の還付漏れが発生したときは、複数でチェックを厳しくするとの答弁を受けた。

だが、給付金申請で架空の銀行名を記した文書を発送したミスが起きてしまった。

前回と同様の、再発防止に努める、という言葉だけでは町民は納得しないと思う。今後の考えは

答 吉田町長

指摘された点に関して、町民の皆さんの信頼を欠くようなことになったことをお詫びします。私どもは、事務ミスを隠さずに、すぐにミスコミなどに報告する考えを持っていきます。町として

は、もつと心を締めて取り組みます。

答 保土澤副町長

事務処理を預かるトップとして、非常に私も残念です。今後、庁内で課長会議等でも話し合って改善する方向に努めます。

● 地方交付税関連について

問 下田 敏美議員

総務省が人口減少対策で成果を上げた自治体に対して、地方交付税算定基準を平成29年度から手厚く見直すという新聞記事を見た。

当町が一番先に該当すると思うが、新年度に向かい、新規事業の考えは

答 吉田町長

県や関係機関から情報は把握していますが、ただ、総じて全国の町村交付税対象の自治体は、28年度よりも減るだろうとの予測をしています。正確な数値等を把握してから財政、町のために役立てたいと考えます。

議会を傍聴してみませんか？



役場内の階段で4階へ。

Let's Go!!



これからの町のことを話し合う場、それが議場です。どんなことを審議するのか、傍聴してみませんか？



傍聴受付で記入したら、入場できます。



本会議中は1階のロビーのテレビでも中継しています。



傍聴席からはこんな感じですよ。



席は自由席です。バリアフリーに対応となっています。

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・円子徳通議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	長根 一男	種市 正孝	杉山 茂夫	久田 伸一	高坂 茂	下田 敏美	川村 重光	河野 豊	母良田 昭	山本 実	苫米地 繁雄	審査結果	議決日
承認14号	専決処分の承認 平成28年度六戸町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	12月6日
承認15号	専決処分の承認 平成28年度六戸町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認16号	専決処分の承認 平成28年度六戸町国民健康保険病院事業特別会補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
議案52号	青森県市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案53号	六戸町税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案54号	六戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案55号	六戸町農業委員会の委員等の定数に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案56号	六戸町農業委員会委員選考委員会設置条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案57号	六戸町農業委員会農地利用最適化推進委員選考委員会設置条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案58号	六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	原案可決	
議案59号	六戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案60号	六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案61号	六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案62号	土地改良(災害復旧)事業の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案63号	平成28年度六戸町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案64号	平成28年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案65号	平成28年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案66号	平成28年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案67号	平成28年度六戸町霊園事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案68号	平成28年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
同意4号	六戸町教育委員会委員の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意	

議会のひらき

(28年9月～11月)

9月

- 1日 第3回六戸町議会定例会(～7日)
- 七中体育館視察、産業民生常任委員会災害視察
- 1日 六戸秋まつり(～4日)
- 4日 青森県民駅伝競走大会反省会
- 5日 青森中央学院大学生との意見交換会
- 7日 決算特別委員会(～6日)
- 7日 議会広報委員会
- 16日 第63回六戸町敬老会
- 26日 産業民生常任委員会
- 30日 県議長会理事會

10月

- 4日 議会広報委員会
- 5日 総務常任委員会
- 6日 鯉ヶ沢町議会議員行政視察
- 11日 議会広報委員会
- 12日 六戸高校生と議員との意見交換会
- 14日 議会広報委員会
- 23日 六戸町社会福祉大会・社協まつり
- 25日 議会広報委員会県外研修(～26日)
- 26日 * 上北郡町村議会議長会定例会
- 27日 正・副議長、事務局長研

11月

- 29日 メイブルマラソン大会
- * メイブルタウンフェスタオープニングセレモニー
- 31日 産業民生常任委員会、総務常任委員会、全員協議会
- 8日 全員協議会、議会広報委員会
- 9日 * 全国議長大会(～10日)
- 13日 町連合PTA総会
- 14日 議会議員県外視察研修(～17日)
- 21日 * 青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日 * 県議長会主催「知事を囲む行政懇談会」
- 25日 * 県議長会理事會
- 28日 議会運営委員会
- * 印は議長のみ出席



10月6日、鯉ヶ沢町議会が視察に訪れた。当町議会が制定した議会基本条例や議会改革について多くの質問があった。

議会トピックス ③

子どもにカッコイイと思われるよう、まず、自分が勉強し、子どもを教えられるようにしたい。(Y.Mさん)



こうさか しげる
高坂 茂 議員

開知小通学路にある 空き家処理を

町が早期に撤去の方向で対応 — 町長

問

この空き家は、通学路にあり、子供たちにとって非常に危険な状態である。従って一刻も早く撤去して頂きたいが、どのくらいの時間を考えているか

町長

指摘の箇所は、いろんな法的部分絡んでいきますので、通学路であること、危険であることを関係する方々にご理解いただいて、了解を得れば、直ちに取り壊しを実施したい。

問

特に冬の間は、交差点を遠回りしながらであり、大変難儀している状態だ。早くということであれば、行政代執行まで考えての対応を

町長

ここは、通常の所有者という形ではないので、あくまでその当事者の了解を得られれば、直ちに取り壊しを行う考えです。この件について積極的に対応する。



安全な通学路を

問

わが町の空き家あるいは廃屋の実態を把握しているのか

建設水道課長

今現在、空き家等の実態を把握している調査はないが、具体的には、1月の区長会議において、地域の空き家について、情報を提供してもらう予定。

問

人が住んでいない廃屋等への課税が、滞納などの実態は

税務課長

これは個人情報絡むので滞納状況とかは答えられないが、課税自体はなされている。

問

避難準備情報が出たわけですが、総務課から電話を受けて、具体的にどのような動きをすればいいのか、地域の区長さん方は分らないのでは。対応マニュアルなど整備しては

総務課長

今回は町とすることで、混乱したことはあった。まずは区長さんに知らせること、問い合わせがあった際は、避難所は就業改善センターと教えていただくとの内容です。なお、一人暮らしの方には、民生委員から連絡するという内容にしてある。

問

倒木被害の対応は

建設水道課長

町の職員がパトロールあるいは、準備室からの情報等で現場を確認して、できるかどうか判断をしながらの作業だった。電線、電話線については、各会社に連絡して対処した。

問

畑作被害について町での対応は

農業課長

被害状況については、これから受付をし、国の28年度の補助事業である、平成28年度台風対応産地緊急支援事業の受付を行う予定。内容は、種子と資材の購入助成である。



すぎやま しげ お 杉山 茂夫 議員

第4次六戸町総合振興計画の後期基本計画について

問 「受動喫煙対策に向け、空気クリーン施設登録推進」の今後の予定は

町長 受動喫煙対策に向け、町内の事業所に対し空気クリーン施設認証制度※の周知届出依頼を行い、登録数の増加に努める。また役場庁舎は喫煙室1箇所があるが、玄関口の喫煙所をなくしながら前向きに取り組む。

問 「医療機器・機材の更新と病院施設の大規模改修の検討」のの中身は

町長 10月からスタートした町診療所建物は、耐震化等では問題

はなく、建て替える考えはない。ただ築31年を経過しており屋根・外壁等の改修を業務内容や財源確保を含め検討。また医療機器・機材も保守対応期限等を確認し計画的に更新を検討する他、地域医療の立場で周辺の公共病院との連携も考えながら協議していく。

問 「防災無線の適正管理と有効活用及び子局の新設」の予定と場所は

町長 平成25年3月に古里西地区に子局を新設し、今後も現在の放送エリアでカバーできない地域があれば検討する。

問 「道の駅周辺の道路整備と遊具の設置」の計画の中身は

町長 現在、道の駅南側の集落道と官庁街線の接続工事を実施し3月末に完成予定。遊具等設置はスペース的部分も含め将来的課題で、より魅力的な商業基盤として道の駅周辺の整備を検討する。

問 館野の郷土資料館は、入館者が平成26年度で30人。平成32年度で300人の目標を掲げているが、道の駅周辺に移動し苦米地家住宅との連携で郷土の歴史を発進する考えは

教育課長 郷土資料館の立地の条件もあり、入場者数が増えているが、資料館にあるものを苦米地家住宅へ移動し展示している。

副町長 苦米地家住宅は国道45号

線道の駅内で非常に立地が良いが、文化財として火気禁止など利活用について課題が多い。

町長 今後南側接続道路の完成を見て、人の流れや周辺スペース等も勘案して、複合的エリアとして道の駅周辺の整備ができるかどうか考えてみたい。

問 「役場の事務事業への町民団体等の参画・協働の促進」の内容は

町長 協働のまちづくりに推進に向け、指定管理者制度や民間委託はもとより、各種計画づくりや政策形成、様々な事務事業における民間の専門的知識や実務ノウハウを活用する考えです。

問 東京飯田橋駅に青森県のアンテナショップ「北彩館」があるが、六戸町の物産やパンフレットが置いていない

い実態がある。もっと町のPRに利用すべきではないか

産業課長 現在作成中「ベジタランド六戸」PRポスターや「大玉にんにく」チラシを早速アンテナショップに送って展示したい。また町の特産品の販売も種類等について検討したい。

問 「町税等の納付がクレジットや口座振替の他、「コンビニ納付」の考えは

町長 納付方法の拡充は、納税者の利便性向上と納期内納付の推進の観点から、コンビニエンスストアでの納付方法についても検討していきたい。

※空気クリーン施設の認証制度とは？
保健所では、受動喫煙防止対策を実施している施設やタクシー等の車両に対して、「空気クリーン施設(車)」として認定し、ステッカーを交付しています。

若者ならではの意見も見られた



える、 20年後の未来

テーマ① 六戸町の「誇りに思うこと」「残念に思うこと」

誇り

- ・ 官庁街がある
- ・ 商業施設が増えている
- ・ 桜の木がたくさんある（館野公園）
- ・ 自然が豊かである
- ・ ボランティアの参加者が多い
- ・ 挨拶をする町
- ・ 三沢市まで町民バスがある
- ・ 道路がきれい
- ・ 温泉が多い
- ・ 老人福祉施設が多い
- ・ 海外交流がある
- ・ 町の立地が良い（空港、駅のアクセス）
- ・ 電子投票の実施
- ・ 六高ゴルフ部の活躍

good!

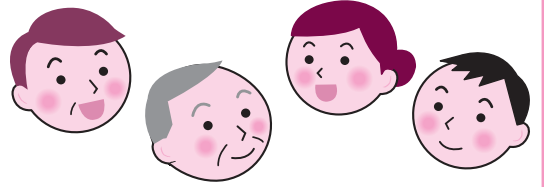
残念

- ・ 民間のバスの便が少ない
- ・ 大規模商業施設がない
- ・ 北部地区にスーパーがない
- ・ 病院が少ない
- ・ カメムシが多い
- ・ 太陽光発電（ソーラー）が多い
- ・ ファーストフード店がない
- ・ 交通事故が多い
- ・ 工場が少ない

bad!

六戸町議会は、10月12日に六戸高校に通う3年生68人と意見交換を行い、議員12人のほか、六戸町役場の若手職員7人、青森中央学院大学の学生8人、一般参加者5人、総勢100人が参加しました。

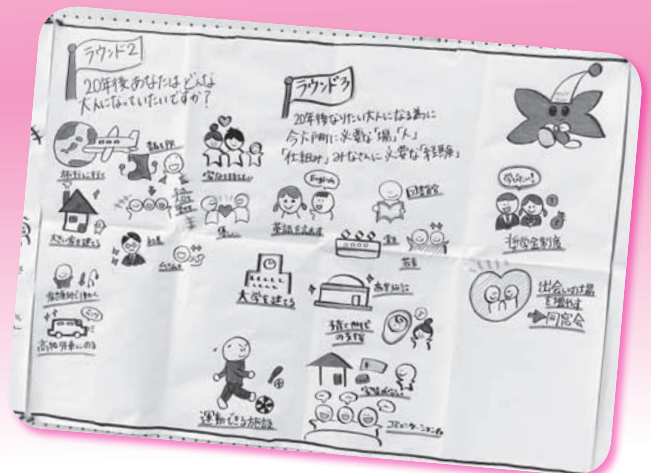
意見交換会には、前回と同様に、青森中央学院大学准教授の佐藤淳氏をコーディネーター役に迎え、話し合うテーブルを渡り歩いて意



見を出し合うワールドカフェ方式で行いました。

自分たちが住んでいる町や六戸町について、3つのテーマに沿って意見を交わし合い、抜粋したものを紹介します。

意見交換会で出された意見は、今後の定例会の一般質問や議会活動に活かしていきます。



会場となった六戸高校の体育館



みんなで考

68人 六高生 × 議員 12人

テーマ①

20年後なりたい大人になるために、今六戸町に必要な「場」「人」「仕組み」また、みなさんに必要な「経験」は何でしょうか？

- ・地域のひととのコミュニケーション
- ・専門学校
- ・子育て支援
- ・インターンシップ
- ・総合病院
- ・遊具の充実
- ・出合いの場
- ・大学の建設
- ・農業支援
- ・企業誘致と雇用の充実
- ・学校、公共施設の充実
- ・イターン、Uターンの受け入れ
- ・公共施設の有効活用（廃校等）
- ・ボランティアスタッフ
- ・働く場所
- ・新規イベント
- ・英会話
- ・日常挨拶
- ・失敗を活かす
- ・奨学金の充実
- ・町の代名詞（ブランド）
- ・交通の便

テーマ② 20年後あなたはどんな大人になっていきたいですか？

① 職業

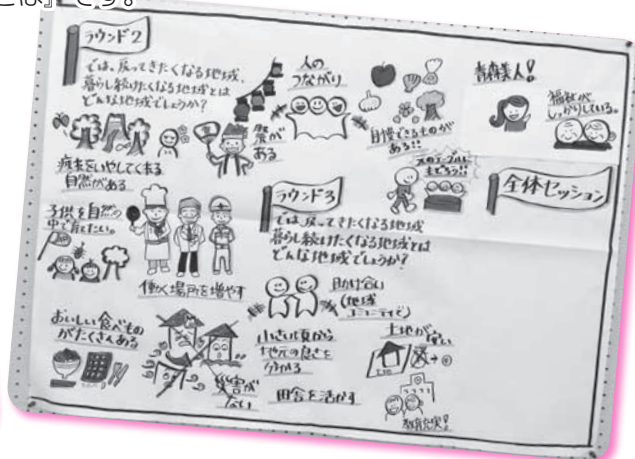
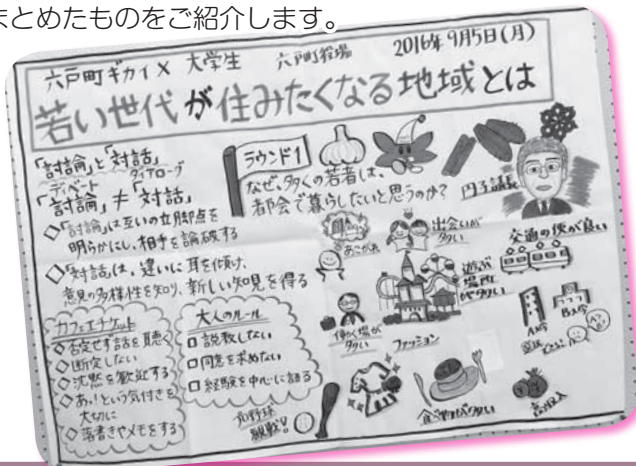
- ・美容師
- ・プロ野球選手
- ・教師
- ・看護師
- ・消防士
- ・介護士
- ・町長
- ・建築家
- ・歯科衛生士
- ・結婚プランナー
- ・ミュージシャン
- ・ファッションデザイナー
- ・IT関係の仕事
- ・自衛官
- ・言語聴覚士
- ・保育士
- ・警察官
- ・接客業
- ・翻訳、通訳
- ・画家

② どんな大人になりたいか

- ・海外生活
- ・責任感のある人
- ・健康第一
- ・優しい大人
- ・町特産物づくり
- ・自由に生きる
- ・尊敬される大人
- ・高級車購入
- ・趣味と生きがいの大人
- ・収入のある安定的生活
- ・結婚して子どものある家庭
- ・選挙に行って投票できる大人
- ・オリンピック選手
- ・英会話ができる
- ・地域活性化に貢献
- ・貯金
- ・マイホーム
- ・親孝行な大人
- ・海外旅行
- ・会社経営

青森中央学院大学 大学生と議員との意見交換会を開催しました!

9月5日、青森県出身の学生8人と意見交換会を行いました。テーマは『若い世代が住みたくなる地域とは』です。まとめたものをご紹介します。



11月14日から17日まで、議会議員12名は、沖縄県那覇市議会、石垣市議会、沖縄県農業研究センター、沖縄長生薬草本社（6次産業）などを視察しました。



那覇市議会議場にて

の経緯を学ぶ



IT⇒ICT

※ ICTとは情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称です。

日本では「情報通信技術」と訳され、特に公共サービスの分野において使われています。最近では情報通信技術を利用した情報や知識の共有・伝達といったコミュニケーションの重要性を伝える意味で従来から使われているITよりもICTの方が一般的に使われるようになってきています。

久田 伸一 議員

那覇市議会では現議員数35人（女性7人）で、ほぼ全員が一般質問を行い、問題意識を持った多様な意見を行政に反映していたと思う。

平成24年に円形の議場ができており、議席は高低差が少なく傍聴席が議員と近くの傍聴人が身近に感じる議場で、電光掲示板があり、議案に対する議員の賛否を公表するようになっており、また、一般質問の残り時間の表示もされている。議会改革の一例としてタブレットを導入し、インターネット議会中継の録画放送も行っており、私達も考えていかなければと思う。

長根 一男 議員

石垣市役所の「すぐやる課」の設置経緯の説明に大変興味を持った。

「迅速、的確な」仕事を行う市役所を目指す、第一歩として気軽に相談しやすい身近な窓口が必要だと考えたそうだが、我が穴戸町でもこの課に相談したらよいか分からない方々のために、ロビー入口の所に受付窓口相談があると大変良いと思った。今後、「受付・窓口相談」設置について働きかけていきたいと思う。

高坂 茂 議員

日本最南端に位置する沖縄県及び周りの島々を直に見聞きすることで、これまでの沖縄に対する見方が正しかったかどうか、その概念を探るいい機会だった。

沖縄といえば外交的に常に話題となる普天間基地が存在し、駐留米軍規模は日本では75%を占めるとのことだった。それと、石垣市のある尖閣諸島警護の海上保安庁の船や自衛隊の艦隊が間近に見られ、中国への対応は大変であることも肌で感じられた研修であった。

種市 正孝 議員

那覇市議会では、円形に席を配置した新議場の視察、インターネットを活用した議会中継の説明、議会改革等の意見交換等を行った。円形議場の[対面]などのコンセプトは、今後の当町での議会報告会や意見交換会等において、参考にしていきたい。

南城市の薬草やハーブを使った6次産業化に積極的に取り組んでいる沖縄長生薬草本社の視察では、販売においてISOやGMPといった国際規格の取得により付加価値を高めることが販売拡充につながることを認識した。

下田 敏美 議員

那覇市議会では、議会基本条例の内容については、基本的に当議会と同じであるが、私が注目したのは、正副議長選挙への立候補に関する要綱を定めていることだ。

石垣市役所では、新庁舎建設位置の決定について議会事務局長より説明を受けた。委員から「現地」と答申を受けたが、議員提案により「住民投票条例」を施行させ、住民投票を実施した結果、移転賛成が82%となり安全な高台移転が決まった。

杉山 茂夫 議員

那覇市議会では、円卓型の新議場によるインターネット中継設備や採択の電子化、タブレットによるペーパーレス化等の取り組みを視察した。また、お互いの議会報告会や住民との意見交換会について、有意義な話し合いを持った。

石垣市役所では、新庁舎建設の住民投票と「すぐやる課」の取り組みを伺い、住民参加や市民の苦情受付の方法や処理の仕方について、多くの質問が出た。

私達が目指すべき提案型の議会に向けて、考察する良い機会となった。

ICT※を進める先進地、 議員発議による住民投票例

母良田 昭 議員

まず、大変嬉しく思ったのが、我々の訪問を快く受けてくれたことである。那覇市議会は議員数35名、会派も7会派あり、その中で議会改革に取り組むという事は、そう簡単ではなかったと思う。

確かに、議会のインターネット中継や議会でのタブレット使用など、沖縄県は他より進んでいることは聞いていたが、その中で議会議事報告会や、議員間討議を経ての政策づくり等、当議会にはまだまだやらなければならないことがあることがわかった。今後も議員それぞれの意見を出し合い、町民にわかりやすい議会にするためにがんばっていきたい。

川村 重光 議員

視察研修のうち、「すぐやる課」について報告する。設置過程は、市民からよせられる役所の業務内容、日常生活での相談、意見等をどの課に相談したらよいかわからない、電話を掛けても「たらい回し」にされるといった不満を持つ市民が多かった。

そこで、市民目線で「迅速、的確」な仕事を行う市役所をめざし、すぐやる課を設置、相談業務を開始した。

受付状況の内容で市関係職員への苦情の項があり件数として記録している。これは他の役所ではなかなか出来ないことと思われる。記録が残ることによって、職員の接客スキルの上昇につながると思われ、当町も参考とすべき事柄と思われる。

山本 実 議員

那覇市議会では、議会改革の取り組み状況と議場の視察やインターネット中継配信等について学び、糸満市では、沖縄県農業研究センターで、栽培技術開発状況や農園視察を行った。

南城市では、沖縄長生薬草本社にて、薬草栽培及び農園視察と健康補助食品自社工場の見学と6次産業の取り組みについて学んだ。

石垣市役所では、新庁舎移設に伴う議員発議による住民投票の経緯と、「すぐやる係」の取り組みについて学びました。これら視察研修をしたことを今後町のために提言したいと思う。

河野 豊 議員

那覇市議会での研修は、平成25年2月から開始された議会のタブレット導入とインターネット中継である。

平成26年12月からは予算、決算委員会もインターネット配信し、タブレット・インターネット中継を含むICTの導入では資料配布の費用が軽減、議員への連絡がスムーズになった。また、一般質問や行政側の説明では議場にあるプロジェクターで映像を見ながら説明ができるのはすばらしいと感じた。

一方でインターネット中継は、多い時でも813件、少ない時では0件の結果だった。ただし、重要な議案があると傍聴者も多く混雑するとのことだった。

タブレットの導入については早急に検討すべきと感じたが、インターネット配信については課題が多いと思われる。

苔米地 繁雄 議員

那覇市議会と意見交換をしたが、35人の議員で7つの会派を持つ議会とでは比べることができるものではないと思った。活発な議会活動であることは想定できる。

石垣市役所に「すぐやる係」があるというので少し期待があったが、内容については期待を裏切るものであった。市民からの相談事は迅速に職員が作業することとと思っていた。市民からの相談事またはその電話等をたらい回しせず「すぐやる係」が全て受けて担当部署に連絡するだけの課であった。

しかし、市民の相談事をたらい回しにするのではなく「すぐやる係」で全て受けてくれることには感銘を受けた。我が役場にも「すぐやる係」があれば住民は大変助かると思う。

円子 徳通 議員

那覇市議会では、最新の設備（賛否の結果がボタンで大スクリーンに映し出される）等の説明を受けたあと、インターネット録画中継、タブレットを活用したICT推進について議論を交わし、今後の議会改革の取り組み等について研修した。

石垣市議会では、市庁舎の建て替えに伴う建設位置について、調査特別委員会を設け、議会発議による住民投票の経過と経緯について、議会事務局、担当課の職員より説明を受けた。住民投票の結果は現庁舎ではなく、圧倒的な大差で旧空港跡地に決まったが、「住民投票の意義、民意の大切さ」を実感した研修だった。

老人福祉センター浴槽レジオネラ菌対応 —産業民生常任委員会（9月26日開催）報告—

1. 経過：8月23日に採取した男子浴槽水質に基準値を超えるレジオネラ菌を検出。これは年2回委託業者が水質検査を実施しており、結果が出たのは、9月7日のことでした。福祉課の対応として、上十三保健所に連絡をし、新聞にも公表をし、その後の対応について協議した。

- *ポイント1 ---時系列からすると対応に時間がかかっていること。
- *ポイント2 ---利用者からの聞き取りによる健康状態には、異常が見られなかったこと。
- *ポイント3 ---原因特定ができないことから、一般的な洗浄・消毒等で対処すること。



安心して利用できるように

結論として、危機管理にはもっと真摯に向き合って、このような事態に対し迅速な対応を心がけ、利用者に対し不安等ないよう対策を講じるとの福祉課長からの発言があった。委員会としては、この事案に対しては、町ホームページ、広報誌に状況を報告するとともに、各老人クラブ会長への通知をするよう要望した。

文責：産業民生常任委員会委員長 高坂 茂

読まれて、分かりやすく、伝わる広報誌を目指して —議会広報委員会県外研修報告—

議会広報委員会は、10月25日に東京都で行われた全国町村議会広報研修会に参加しました。議会広報紙の限られたスペースをどう有効に使うべきか学びました。また、東京都内にある青森県のアンテナショップ及び全国のアンテナショップを視察しました。



読まれて、分かりやすい議会広報づくりを学ぶ

○ 全国町村議会広報研修に参加して

議会広報委員会委員長 杉山 茂夫

研修は、文章編と編集編、「読まれて、分かりやすく、伝わる広報誌」を目指す実践的な講座であった。また、全国広報コンクール最優秀賞の川西町と優秀賞の金ヶ崎町の「議会だより」クリニックでは、良い点や注意する点を指摘し、編集方針など具体的に講義した。

特に注目した所は、表紙のインパクトと2・3頁への連動、紙面のレイアウトやホワイトスペースの確保、追跡記事や特集、議会トピックス。写真は説明文を付け、動きのある2段以上の大きさ。見出しは15字以内で、文章は60字以内など、大変参考になった。

○ 青森県アンテナショップ及び

全国のアンテナショップを視察

議会広報委員会副委員長 種市 正孝



あおもり北彩館東京店（JR飯田橋駅西口より徒歩3分）においては、六戸に関するパンフレット等が無いことが残念に思われた。全体的に、店内が暗く感じられ照明等の改善が必要なのではなかろうか。

東京交通会館においては、駅前の複合的なビル内ということもあり、多くの買い物客で賑わいをみせており、地元PRとしての役割は十分に発揮されているように思われた。

参加者募集!!

地域住民との意見交換会 in 小松ヶ丘 ～住みよい地域づくりをめざして～

六戸町議会では、『20年後の六戸町はどうなりたいか』というテーマで青森中央学院大学の大学生や六戸高等学校の高校生と意見交換会を実施してきました。

今回は、町内で特に人口の増えている小松ヶ丘地区で地域の課題を共に考え、住み良い地域づくりを目指して意見交換会を開催します。テーマは『住みよい地域づくりをめざして』。

議員と一緒に意見交換をしませんか？多数のご応募お待ちしております。

■日 時

平成29年2月18日(土) 午後2時から

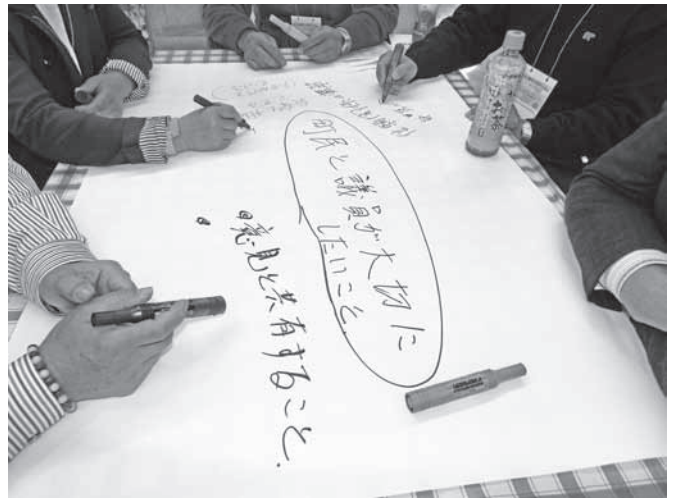
■場 所

小松ヶ丘地域交流館 大ホール
(六戸町小松ヶ丘5丁目77-686)

■開催方法

- ①ワークショップ方式で行います。
- ②各テーブルでキーワードごとに意見を出し合います。
出された意見を模造紙に書き込んで記録します。

■申し込み締切 2月10日(金)



※昨年2月に行われた意見交換会の様子

■ 問い合わせ先 議会事務局 ☎55-4547

議場に感謝 ～議員みんなで大掃除～

12月14日、議員全員で議場や議員控室を大掃除しました。掃除機やぞうきんを使い、一年の汚れを落とし、議場に感謝。平成28年は4回の定例会を行いました。



きれいな議場で新年を



議長執務室も心を込めて

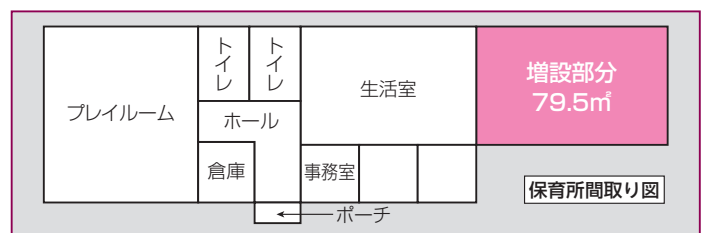
大曲小学校学童保育所を視察

12月14日、小松ヶ丘地区にある大曲小学校学童保育所を視察しました。現在の保育所定員は60人ですが、入所する児童が増えたため増築が決まり、平成29年7月に完成予定となっています。

学童保育所の担当課である外山福祉課長から説明を受け、増築予定の場所や現在の施設の現状を確認しました。



学童保育所の拡充は必要不可欠



町民の声

さまざまな分野で
がんばっている人

町民の皆さんが、さまざまな分野でがんばっています。
今回は、鹿野光彦さんにお話を伺いました。

若手育成が

チーム強化の鍵

鹿野 光彦さん

プロフィール(じかの みつひこ)
たての台団地在住。山形県河北町出身。高校を卒業後、航空自衛隊の自衛官として任務に就き、現在は三沢基地北部航空施設隊に所属している。平成8年に六戸町へ転入し、町体育協会の陸上協会に入会。その後、県民駅伝の町代表選手に選ばれ続け、六戸町チームに貢献する。25年に町陸上協会会長に就任。また、青森県民駅伝の六戸町チームの監督を兼任している。妻と二人暮らしの49歳。



長距離のきっかけは

「陸上競技は学生の頃からずっとやられていたのですか」

鹿野…中・高校は軟式テニスをやっていて、陸上は全然やっていませんでした。長距離走を始めるきっかけは、自衛官になつてからです。体力錬成の一環として走っていました。大会に選手として選ばれ練習をし、指導を受けたらタイムがどんどん良くなつて…。で、タイムを維持しようと思って自己研さんに励みました。アップルマラソンや、うみねこマラソンなどに。年代別では入賞を何度かするようになりました。

「選手」から「監督」へ

「県民駅伝の監督になったのはいつですか」

鹿野…2年前からです。それまでは選手として県

民駅伝に出ていました。(監督になり)選手の指導もたまにしているので、選考会などに顔を出して目ぼしい中学生を引っ張つたりしました。少しでもタイムを上げたいですから。

最近、特に中学生の陸上競技が活躍しているのをよく見ますね。

鹿野…そうですね。中学校の先生が熱心に陸上を教えてくださっているの。さらに、保護者から中学生の指導をしてほしいと依頼があつて、何回か指導をしていました。

特に注目していることはありますか

鹿野…北部の小学生ですね。八戸で行ったレイマラソンで小学生だけのチームで好成績を上げたんです。その子たちの成長が楽しみです。小学生が高校生になつてもまだ陸上を続けていてくれるら、選手の層が厚くなりますからね。

「走れる大人がいなくても、高校生がいれば駅伝は大丈夫なんですよね。」

鹿野…そうですね。今は、どこの町も高校生や20代の若手が主流でチームを作っているのです。

「では、六戸町の駅伝チームはこれから期待、ですね。」

鹿野…そうですね！これからもっと速くなると思いますよ。小学生から高校生まで将来が楽しみです。子ども達が何人もいます。今後に期待しています。

聞き手 杉山委員長
種市副委員長

取材ごぼれ話

▶精力的に県内外のマラソン大会に参加しているという鹿野さん。インタビュアーの杉山委員長や種市議長もランニングが趣味とあり、対談中もマラソン大会の話で盛り上がりを見せました。函館マラソン大会や十和田湖マラソン大会も一緒に参加していたことが分かり、参加者同士共通の話に会話が弾んでいました。(取材日：12月27日)

編集後記

六戸高校の3年生の生徒との意見交換会を行った際、最後に「20年後、○○○な大人になっているために」と言う問いをしました。

記載してもらった回答には、希望した職業に就く為に、勉強し資格を取る。思い描く大人になる為に、知識や経験を持つなどが書かれています。

大人として、同じ世代の子どもを持つ親として、とても感動しました。昨年度から、選挙権が18歳に引き下げられましたが、このようにしつかりした自分のビジョンを持つ18歳なら、きっと地域や国のビジョンにも関心を持ってくれるでしょう。

あと二年後、自分の子どもにも、同じような質問をしてみたいとなりました。

広報委員 種市 正孝

※紙面の一番下に、記載してもらった回答の一部を掲載させていただきます。

議会広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 杉山 茂夫 |
| 副委員長 | 種市 正孝 |
| 委員 | 河野 昭 |
| | 川村 重光 |
| | 高坂 茂 |
| 発行責任者 | 種市 正孝 |
| 議長 | 種市 正孝 |